

出願の際、「対面式」「非対面式」のどちらかを選択してください。「非対面式」受験の詳細については、7月中旬に本学ホームページで発表します。

## ⑥ 吹奏楽アカデミー専攻

### 入学試験科目

#### 1. 外国語

一般選抜（A日程）は、以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語）
- (3) 資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる。

詳細は④一般選抜概要 p. ii を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC(アセスメント版を除く)
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

※一般選抜（B日程）は、調査書の評定を利用する（大学入学共通テストは利用しない）。

#### 2. 楽典

3. 選択科目 以下の課題の（A）～（D）より1つを選択する。

（A）新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

（B）簡単な初見演奏

別室で1-2分予見したのち、試験室において無伴奏で演奏する。

（C）聴音 旋律聴音（8小節程度）・・・ 各専攻共通1題および専攻別1題

和音聴音・・・ 高音部譜表による三和音、4小節程度

[問題例] a moll イ短調  $\frac{2}{2}$  拍子 4小節



（D）副科実技（ピアノ）

自由曲：ソナチネ、ソナタ・アルバム程度の曲目を1曲または1楽章。

※抜粋の場合は、専攻別曲目記入票に楽章等を明記すること。

※暗譜で演奏すること。

#### 4. 面接および口述試問

#### 5. 専攻実技

## 課題曲

### 吹奏楽アカデミー木管楽器

#### ■フルート

##### (1) 音階および分散和音

次の音型によって音階および分散和音を暗譜で演奏すること。調性、スラー等は任意。暗譜。

♩ = 80~90

長調

短調

##### (2) E. Koehler [または Köhler] : Fifteen Easy Exercises. Op. 33, Book 1 (E. ケーラー『15 のやさしい練習曲』作品 33 の第 1 巻) より任意の 1 曲。

※版の指定なし。暗譜の必要なし。

#### ■オーボエ

##### (1) 音階

次の A、B いずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は任意。暗譜。

A例

B例

##### (2) F. W. Ferling : 48 Etudes, Op. 31 (F. W. フェルリンク『48のエチュード』) より任意の奇数・偶数番号を 1 曲ずつ選択し 2 曲を演奏すること。

※版の指定なし。暗譜の必要なし。

## ■クラリネット

⇒どの特殊管で受験してもよい。

### (1) 音階

R. Eichler : Scales for Clarinet (国立音楽大学出版) より各調の1番をスラーで演奏すること。調性は任意。暗譜。

(2) C. Rose : 32 Etudes (C. ローズ『32のエチュード』) より任意の奇数・偶数番号を1曲ずつ選択し2曲を演奏すること。

※(2)は版の指定なし。暗譜の必要なし。

## ■ファゴット

### (1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は任意。暗譜。



(2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 (J. ヴァイセンボーン『50の練習曲』作品8第2巻)のNos. 1-15より任意の2曲。

※版の指定なし。暗譜の必要なし。

## ■サクソフォーン

⇒ソプラノ、アルト、テナー、バリトンのどの楽器で受験してもよい。

### (1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から任意。暗譜。繰り返しなし。

音階譜例



(2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones

(F. W. フェルリンク『サクソフォーンのための48の練習曲』[M. ミュールによる増補改訂版](A. Leduc))より任意の奇数番号1曲と任意の偶数番号1曲の計2曲を演奏すること。

※暗譜の必要なし。

## 吹奏楽アカデミー金管楽器

### 金管楽器共通課題（音階および分散和音）

次の例にしたがって、長音階と短音階を暗譜で演奏すること。調性、音域は任意。



### ■ホルン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch: Sixty Selected Studies for Horn (G. コブラッシュ『60のエチュード（ホルン）』) より 任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

### ■トランペット

(1) 共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch: Sixty Selected Studies for Trumpet (G. コブラッシュ『60のエチュード（トランペット）』) より任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

### ■トロンボーン、バス・トロンボーン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch: Sixty Selected Studies for Trombone (G. コブラッシュ『60のエチュード（トロンボーン）』) より任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

※バス・トロンボーンで受験する場合は1オクターヴ下げて演奏してもよい。

### ■チューバ

(1) 共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch: Sixty Selected Studies for Tuba (G. コブラッシュ『60のエチュード（チューバ）』) より任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

※使用する楽器の管の種類は問わない。

### ■ユーフォニアム

(1) 共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch: Sixty Selected Studies for Trombone (G. コブラッシュ『60のエチュード（トロンボーン）』) より任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

## 吹奏楽アカデミー打楽器

### (1) 打楽器共通課題

- ① 鍵盤打楽器による 2 オクターヴの長音階と短音階。調性は調号 3 つまでの調から任意。音型は自由。但し、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。  
※楽器はシロフォン、マリンバ、ヴィブラフォンより選択すること。
- ② 小太鼓による 2 つ打ち（楽器は各自持参のこと）

### (2) 楽器別課題

下記のいずれか 1 つを選択すること。

#### ■ ティンパニ

R. Hochrainer : Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger Music) の Nos. 8、9、10 のうち、任意の 2 曲  
※暗譜の必要なし。

#### ■ 小太鼓

W. F. Ludwig : Collection Drum Solos (Ludwig Music) より The Connecticut Halftime  
※暗譜の必要なし。

#### ■ 鍵盤打楽器

M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の 39 Etudes より V、VII のどちらか 1 曲  
※ (1) ① と同一楽器で演奏すること。  
※暗譜の必要なし。

## 吹奏楽アカデミー弦楽器

### ■ コントラバス

#### (1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。

The image displays three staves of musical notation for string bass. Each staff begins with a tempo marking of quarter note = 60 (♩=60). The first staff features a scale with a triplet and a vibrato mark. The second and third staves show more complex rhythmic patterns and chords.

#### (2) F. Simandl : 30 Etudes for the String Bass (G. Fischer) より任意の 1 曲、または任意の自由曲を 1 曲

※暗譜の必要なし。  
※オーケストラチューニング  
※伴奏なし。

#### ■ ハープ

任意の自由曲 1 曲  
※暗譜の必要なし。  
※伴奏なし。